

## ●活動報告

# 新規の企業団体出展が増加、CSR活動としても有効！ 第22回「青少年のための科学の祭典」2013全国大会を開催



【オープニングセレモニー】  
入場を待つ子どもたちを前に、主催者があいさつ



【オープン時の来場者の様子】  
館の外には長蛇の入場待ち列ができた



【個人出展ブース】  
タイトル：カラメルと銀鏡反応でミラーオブジェを作る



【個人出展ステージショー】  
タイトル：“動く”不思議な木のおもちゃ

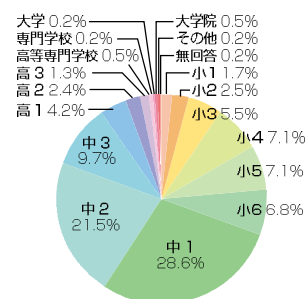
7月27日（土）、28日（日）の2日間、科学技術館の1階催事場をメイン会場に、第22回「青少年のための科学の祭典」2013全国大会が開催されました。自主大会として2回目となる今大会は、全国から個人・団体出展、日本学生科学賞研究発表、エネルギー教育事業の分野で合計80の出展企画数となりました。

### ●皆様のご協力に感謝

今年、全国大会としては初めて「子どもゆめ基金」の助成を受け、また、東京理科大学からは特別協賛を、さらに、中外製薬をはじめとする企業や団体から協賛をいただきました。CSR活動の一環として出展された企業や団体からも運営協力金として出展料をご負担いただいたほか、実験解説集に設けた広告ページにも学校や企業から広告掲載によるご支援を受けました。そして、個人出展者の多くの方にも旅費の一部をご負担いただき、今年の科学の祭典全国大会が開催できました。

### ●来場者数と子どもの年代別内訳

今年の来場者数は2日間合わせて14,000人を突破しました。年代別では、子どもの全参加者のうち、中学生が約6割と最も多くを占め、小学生は約3割（小学3年～6年：20%、小学1年～3年：9.2%）、高校生は7.9%で、学年別では、中学1年（28.6%）がトップという内訳になりました。



【子どもの年代別内訳】

### ●個人出展（ブース：33、ステージ：2）

24都道府県と外国1ヵ国から応募があり、その中から35名の実験名人である個人出展者に出展していただきました。今回は、定番の出展に加え、過去に出展された実験工作をパワーアップした出展や、火薬類取締法により出展を断念していた線香花火の製作を火薬を使わない方法で復活するなど多彩な個人出展になりました。

### ●団体出展（ブース：30、講演：2、映像：1）

新規参加22団体を含む33団体による出展となりました。今回は、定番の出展に加え、新規参加の団体の中にはテレビでも話題となった「深海探査ロボット 江戸っ子1号」の展示や、子どもたちが大好きなセミやクワガタムシの出展、子どもよりもお母さんたち女性の方々が興味を示した「コラーゲンがつくる不思議な世界」、ステージ講演による「宇宙はなにからできているんだろう？」の出展など、子どもだけでなく大人も楽しめる興味深い内容となりました。

ご協力をいただきました企業・団体につきましては、P9末をご覧ください。

### ●日本学生科学賞研究発表会（ブース：8、ステージ：8）

読売新聞社の協力により、第56回日本学生科学賞中央最終審査会出場研究作品から中学校4校、高等学校4校の計8校の出展と発表を行いました。全国から選ばれた優れた研究作品は、来場した学生や教員の方に参考となる内容でした。

秋田県由利本荘市立出羽中学校	熊本県立宇土高等学校
福井県福井市立社中学校	北海道旭川東高等学校
福島県福島市立福島第一中学校	埼玉県立川口北高等学校
岐阜県可児市立中部中学校	千葉県立千葉高等学校

### ●エネルギー教育事業（ブース：3、ステージ：2）

学習指導要領でも放射線の性質と利用にも触れることが求められており、また、国民全体としても放射線に対する正しい知識と理解が求められています。このことから、教育関係者や多くの幅広い年齢層の来場者に対して、エネルギーや放射線に関する正しい知識を普及する目的として、エネルギー教育に関する出前教室を科学の祭典の出展として実施しました。子どもから大人、教育者の方にも、放射線については身近なものとして、またエネルギーの大切さについても改めて認識と理解をいただきました。

### ●高校生ボランティアの協力

今年も出展の補助スタッフとして、演示講師の指導のもと、近隣の多くの高校生ボランティアに協力してもらいました。参加した高校生からは「補助スタッフとして出展者側に立つことで参加者へ教えることの喜びと難しさを体験でき、サイエンスコミュニケーション力の向上にも役立った」との感想をいただきました。

埼玉県立大宮高等学校、埼玉県立川口北高等学校、秋草学園高等学校、千葉県立東葛飾高等学校、千葉県立市川東高等学校、千葉県立津田沼高等学校から、2日間で延べ123名の高校生のみなさん、ご協力ありがとうございました。

### ●次年度に向けて

個人出展および団体出展の皆様のご協力に感謝するとともに、実行委員の皆様のご協力にお礼を申し上げます。次年度に向けて、企業・団体の皆様のさらなるご協力とご支援をお願いするとともに、新たな個人・団体出展についてもご検討をお願いいたします。

<人財育成部>

#### <出展協力企業・団体一覧>

独立行政法人日本原子力研究開発機構／独立行政法人科学技術振興機構／一般財団法人電力中央研究所／一般社団法人日本風力エネルギー学会／一般社団法人日本アマチュア無線連盟東京都支部／電機・電子・情報通信産業経営者連盟／一般社団法人日本原子力学会関東・甲越支部／一般社団法人日本鉄鋼連盟／公益財団法人東レ科学振興会／株式会社リコー CSR 室／株式会社オーディオテクニカ／日本 IBM 株式会社社会貢献ボランティアチーム／川崎重工業株式会社／株式会社マルハニチロホールディングス／株式会社ニッピ／江戸っ子1号プロジェクト推進委員会／バキュームモールド工業株式会社／東京東信用金庫／日本電子株式会社／下仁田ジオパーク・伊豆半島ジオパーク・山陰海岸ジオパーク／湯沢市ジオパーク推進協議会／オリンパスわくわくプロジェクト／日本ナショナルインスツルメンツ株式会社／セミの抜け殻しらべ市民ネット／クワガタ観察・雑木林探検隊／かがわ源内ネットワーク／半魚人倶楽部／大学共同利用機関法人高エネルギー研究開発機構／愛知工業大学／東京海洋大学／芝浦工業大学／東京理科大学／近畿大学／東京都立駒場高等学校／北陸電力エネルギー科学館／オンライン自然科学教育ネットワーク／公益財団法人日本科学技術振興財団情報システム部



【企業出展ブース】

タイトル：LEGO® ロボットを自由に動かそう！



【企業出展ワークショップ】

タイトル：これで君もサケ博士！サケの誕生物語と生命の設計図の秘密



【日本学生科学賞ブース】

タイトル：マヨネーズのとぐろの秘密



【エネルギー教育事業ステージショー】

タイトル：日本の明かりの歴史を見てみよう

青少年のための科学の祭典 公式ホームページ：<http://www.kagakunosaiten.jp/>